

神奈川県剣道連盟での重大事故発生の報告がありましたので情報提供します

稽古の後、心筋梗塞を発症

60代男性

本年1月、午後、稽古に参加、稽古中は問題なく経過

稽古後に剣道具を片付けて終わった頃、胸が苦しくなり、倒れる

道場責任者が体調不良に気づき、救急車手配および救急隊と電話を繋いだまま初期対応をした。また、同責任者が救急法、蘇生法の有資格者であり初期対応が早く適切であったため、救急隊員からも一命を取り留める要因であったとのこと

一時期、意識もない状況だったが、応急処置により改善、救急車に搬入される時は話もできていた

しかし、病院到着後再度悪化、1週間後の状況では集中治療室にて加療中

この方は、過去に2度の心筋梗塞を経験していた
おり、既往症として有していた。

稽古場は小学校の体育館、AED設置は体育館内になく、設置を要望中
今回は救急隊到着後も使用の必要は無かった

今回の事例より

- 1 スポーツ現場には救急処置ができる人が必要、生死を分けることがある
指導者は必ず講習をうけるようにしよう
- 2 AED設置は経済的にかなりハードルが高い。学校などに設置はされているが、
体育館等を借用しての使用の中では、管理などの問題で使用が難しいことが多い。
むしろ、近隣にコンビニや消防署があれば、緊急時に借用できるようにお願いした
方が現実的。
- 3 心筋梗塞、重症不整脈などの既往のある方は必ず稽古をする場所の方々に
お知らせしておいてください。

文責 野見山